

ご参考

「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の概要は次のとおりです。

①サステナビリティ宣言（基本方針）

～ 暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ ～
私たちは、100年以上積み重ねてきた「まちづくり」・「ひとづくり」を未来へつなぎ、
地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、
すべての人々が豊かさ喜びを実感でき、
次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献します。

②重要テーマ(マテリアリティ) 当社グループがサステナブル経営を進める上で、重きを置く6つのテーマ

テーマ	取組方針
 安全・安心の追求 	鉄道をはじめ、安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していきます。
 豊かなまちづくり 	自然や文化と共に、人々がいきいきと集い・働き・住み続けたいまちづくりを進めます。
 未来へつながる暮らしの提案 	未来志向のライフスタイルを提案し、日々の暮らしに快適さと感動を創出します。
 一人ひとりの活躍 	多様な個性や能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成するとともに、広く社会の次世代の育成にも取り組みます。
 環境保全の推進 	低炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動を推進します。
 ガバナンスの充実 	すべてのステークホルダーの期待に応え、誠実で公正なガバナンスを徹底します。

■サステナビリティ宣言に基づく具体的な取組例



激甚化する自然災害への対応

- ・鉄道事業における減災・防災への取組の充実
水害対策や耐震補強、計画運休の方針策定、
お客様への情報発信の強化など



阪急電鉄

阪神電気鉄道



CO2 など温室効果ガスの排出量の削減、 エネルギー効率の改善（省エネの推進）

- ・鉄道事業における省エネ車両の導入促進
- ・賃貸ビルにおける省エネ設備の導入促進
- ・駅舎・車内・劇場照明等のLED化の推進 など



宝塚大劇場ロビー



再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用

- ・太陽光発電設備を設置
【設置施設】
阪神甲子園球場の銀傘、
（阪急）摂津市駅、
（阪神）大石駅、
HEP ファイブなど



阪神甲子園球場

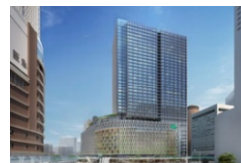


環境配慮型建物（グリーンビルディング）の拡大

- ・新築するオフィス・商業用途の大型ビルで DBJ グリーンビルディングの認証[※]の取得を推進

※ 環境・社会への配慮が優れた不動産（グリーンビルディング）を対象に、日本政策投資銀行が5段階の評価ランク（1つ星から5つ星）の認証を行うもの。

- 【5つ星取得ビル】
大阪梅田ツインタワーズ・サウス、
阪急西宮ガーデンズ



大阪梅田ツインタワーズ・サウス

サステナビリティ宣言の詳細は、当社コーポレートサイトでご紹介しています。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/sustainability/>